寫眞週報

情報局編輯
二月廿五日・第二百九號・十セン



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

時の立札

シンガポールは英國が東亞の地圖を色染めてゐた侵略の據點だつた

同樣の汚點が東亞人の心の中にも浸み込まされてゐたら

陷落を機會に眼に見えないシンガポールをも擊破しておかなくてはならない



☆　南方方面陸軍　☆

最高指揮官 寺内壽一大將



上　常夏の現地に三軍を叱咤する南方方面帝國陸軍最高指揮官寺内壽一陸軍大將
下　部下將校に訓辭を與へる南方方面帝國陸軍總參謀長塚田攻陸軍中將



撮影　陸軍省

昭和十七年二月十五日午後七時五十分、シンガポール島の敵軍は遂にわが軍門に降り、全マレー制覇の偉業は世界戰史の裡に完成した。北部マレーに兵を進めてより七十日目、ジョホール水道渡過以來實に七日目といふ世界戰史に不滅の戰果である

顧れば畏くも米英に對する宣戰の大詔を拜し、猛然たる氣魄を以て、南方に軍を起して以來、數多の堅固な敵據點を次々に覆滅し、敵兵力に致命的痛撃を與へて、今敵の最大策源地であつたシンガポールに顯翻として日章旗のひるがへるを見る。あゝ何たる感激であらう。神國日本の炳乎たる姿は、燦として東亞一帶に映え、久しく暴慢の限りを盡したイギリスの末路に弔鐘は鳴り渡りつゝある

この秋に當り、われ〳〵は何よりも先づ、御稜威の下、家を忘れ身を忘れて勇戰奮鬪した皇軍將兵に、深い感謝の念を捧げねばならぬ。と同時に、シンガポールの陷落は大東亞戰爭遂行に一階梯を築き上げたに過ぎないことを十分自覺し、驕る心を抑へ、氣を勵まして、いよ〳〵猛然と戰ひを續けよう。正に戰ひはこれからであり、衰滅の兆ある米英に、更に容赦なき痛撃を各方面に加へて、一日も早く徹底的にアングロサクソンの邪惡を世界から葬るこそ、戰半ばにして散華した幾多英靈にこたへるべきわれら一億の大任でなければならない

帝國陸軍落下傘部隊の初陣

ドナメ島スペレセンレバ島ラトマスンバに初陣





⇨豪壯無比！輸送機を離れた純白の落下傘が次次次と大輪の白菊のやうに空にとび出す

⇦遂に鮮血セレベスの土を足下に踏みしめた！　直ちに攻撃に移らんとする海軍落下傘部隊

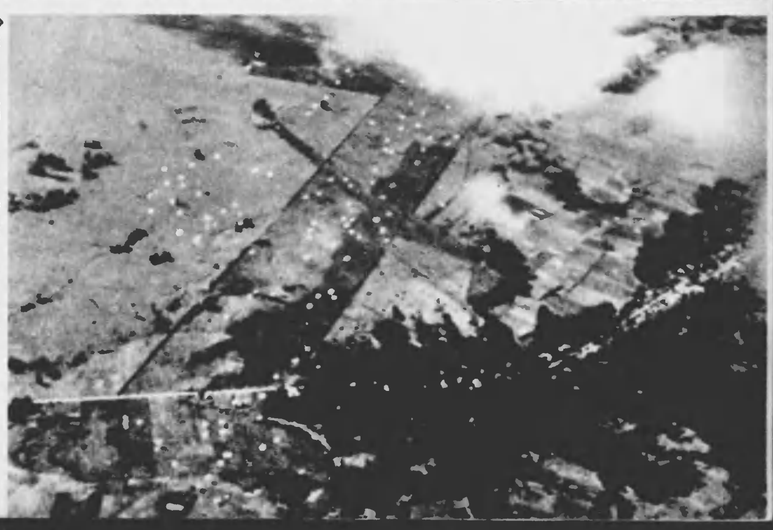
撮影　本間海軍報道班員

大東亞戰爭開始以來、皇軍の赫々たる大戰果は、まさに全世界の驚異の的となつてゐるが、世紀の勝利シンガポール陷つ！の報に先立つて、蘭印方面におけるわが陸海軍落下傘部隊初の大活躍が明らかにされ、反樞軸國家群を恐怖のどん底に叩き込んだ

即ち、さる一月十一日セレベス島メナドの攻略に參加した海軍落下傘部隊は、初陣にもかゝはらず堂々の戰果を收め、また二月十四日には陸軍落下傘部隊が蘭印最大の油田地帶であるスマトラ島パレンバンに對する奇襲降下に成功し、直ちに所在の敵を撃破して飛行場その他を占領確保するといふ大戰果をあげたのである



⇨一人また一人、必死に防戰する敵の猛射の中に着陸する海軍落下傘兵



⇨空に開く花園！　着陸地點を擇して堂々の降下



⇦落下傘をかなぐり捨てるや、直ちに武器を執つて敵を追する陸軍落下傘兵

（撮影　陸軍省）





⇦陸軍輸送機より勇躍降下！落下傘が正に開かんとする直前（撮影　陸軍省）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ジョホール水道強行渡過



宮本三郎繪

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

西へ西へ！ラングーン目指して

ビルマ戦線





モールメン占領と同時に息もつかせずサルウイン河對岸を突破

吉林の峻嶺に砲を進めて敵追撃はます〳〵急





わが進軍を殺意の眼を輝かせて迎へるビルマ人

モールメンは間近だ。猛撃の前に暫し山野跋渉の疲れを休める

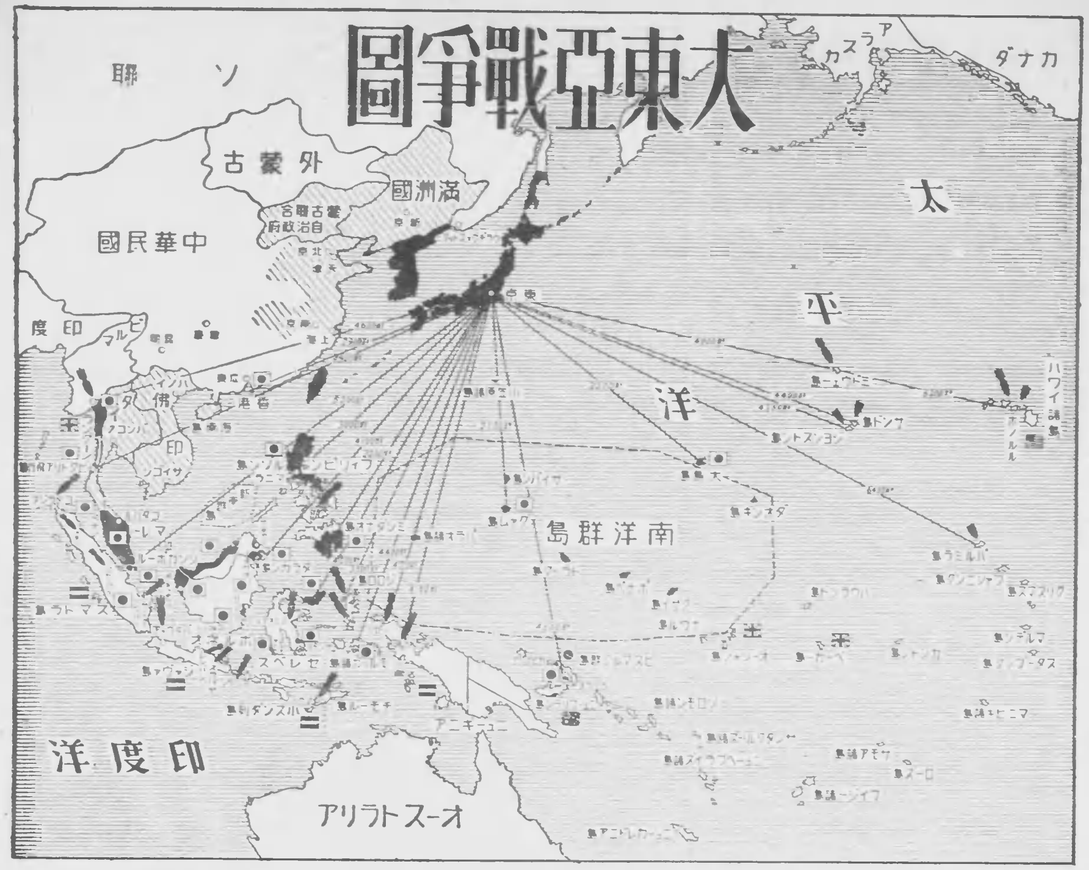
泰ビルマ國境の山岳地帯を突破してビルマに進攻したわが精鋭部隊は、連日の悪天候と險難な山地を克服、しかも大規模に破壊された難道な道路を踏破して隨所に敵を撃破し、一月三十一日遂にモールメンを完全に占領した

モールメンはビルマの首都ラングーンの外郭陣地として敵が戰略上極めて重要な據點と恃んだ所、それだけにこの地點を確保したわが軍は、來るべきビルマ席巻の第一歩を印したものと見られよう。果してわが將兵は、意氣いよ〳〵上り、息もつかせずサルウイン河對岸の敵を壓して二月十日マルタバンを占領、こゝに敵首都ラングーンの命脈は急迫を告げるに至つた



モールメン市街に入るわか勇士

撮影　日本映画社



大東亞戰爭日誌



マレー方面帝國陸軍部隊は本十五日午後七時五十分シンガポール島要塞の敵軍をして無條件降伏せしめたり（十五日午後十時十分發表）

九日　●海軍特別陸戰隊はセレベス島南端の要衝マカッサルならびにニューブリテン島南側の要地カスマタを完全占領　●海軍軍は蘭印の首都バタヴィアを大空襲し、チリリタン、カマヨラン、タンジュンプリオクの各飛行場を攻撃、敵機二十機を撃墜破し軍事施設を破壞

十日　●蘭印ボルネオ方面陸軍はタナーグロゴト上陸後陸路四百キロの密林を踏破正午、南岸の要衝バンジェルマシンを完全占領　●午後一時、ビルマ方面陸軍はサルウイン河右岸の要衝マルタバンを完全占領

十一日　●早朝、シンガポール島要塞を猛攻中の陸軍は激戰の後、シンガポール島最高地點ブキテマの要衝を奪取

十二日　●マレー方面陸軍軍は全力をもつてシンガポール島要塞貯水池周邊地區の大殲滅戰に協力すると共に大擧して退避準備中の敵艦船群を襲撃、一万トン級（兵員滿載）一隻撃沈、三千トン級乃至一千トン級九隻に多數の命中彈を與ふ

十四日　●未明、海軍はシンガポール島セレター軍港に進入、正午これを占領　●午前十一時二十六分、強力なる陸軍落下傘部隊は蘭印最大の油田地帶たるスマトラ島パレンバンに對する奇襲降下に成功、敵を撃破して飛行場その他の要地を占領確保すると共に更に戰果を擴張。陸海軍は本作戰に密接に協力すると共に一部は十五日午前、同地飛行場に着陸　●シンガポール方面軍艦隊はシンガポール脫出を企圖せる艦艇ならびに輸送船團を同島南方海面及びバンカ海峽附近に捕捉攻撃、二月十日より本日までの間に合計三十二隻を撃沈破または擱坐せしむ、その戰果（一）撃沈、アレスーサ型輕巡（または大破一、特設巡洋艦一、潜水艦二、砲艦二、敷設艦一、特務艦一、二万トン級輸送船一、八千トン級輸送船四、三千トン級輸送船二、（二）撃破、敷國巡洋艦一、駆逐艦一、特務艦二、輸送船十、魚雷艇一、（三）擱坐、敷設艦一、輸送船一

十五日　●午後七時、敵マレー軍總司令官パーシバル中將はシンガポール戰線の第一線ブキテマ高地のフォード會社跡にて會見、わが最高指揮官に無條件降伏を申し出、こゝに敵が難攻不落を豪語せる堅塁シンガポールは皇軍の猛攻撃か七日にして攻略成り、今や帝國はこれを東亞再建の一大據點とする絶有不動の態勢を整うることとなる　●去る一月十一日海軍落下傘部隊はセレベス島メナド攻略戰に參加し赫々たる戰果を收めたりと發表さる

十七日　●シンガポール島（港）は爾今、昭南島（港）を呼稱することに定められる

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

新戰場典辭

スマトラ





わが軍のシンガポール占領は、ジャヴァ、スマトラ兩島が受けた爆撃より以上の衝撃を蘭印全般に與へた。といふわけは蘭印の經濟的運命が全般的にシンガポールにかけられてゐたからである。その上、ジャヴァ、スマトラはシンガポールの占領で軍事的にその死命が全く制せられた上、わが軍の劃期的な落下傘部隊によるパレンバン、メナドの攻略といふ離れ業によつて蘭印全島は軍事的に、經濟的にたゞ徒らに立ちすくみの體である。さきにボルネオのタラカン失陷以後米英軍最大の石油供給源スマトラ島のパレンバン油田地方はいまだ皇軍の手に歸した。蘭印全島のうち石油産出高の第一位を保ち、パレンバン油田地帶及びチャンビー油田地帶などを持つスマトラ島の正體を覗つてみよう

× ×

明日の蘭印を背負つて立つものはジャヴァでなくボルネオでもなく一に雨の多いスマトラ島であるといはれる。スマトラは面積四十七万平方キロ（朝鮮の二倍よりやや大きい）もある大きな島であるが、人口は僅かに八百万、その密度はわが國内地の十分の一ほどである。明日の蘭印を背負ふといはれるだけに、幾多の資源に富んではゐるが、今なほ未開發のまゝ殘されてゐる

蘭印の資源といへば石油、ゴムとまづ指を屈するが、その何れもの産出においてスマトラ島は蘭印第一位を確保してゐる。蘭印の油田として知られてゐるものはスマトラ油田、ジャヴァ油田、ボルネオ油田、セラム油田、ニューギニア油田であるが、この中でスマトラ

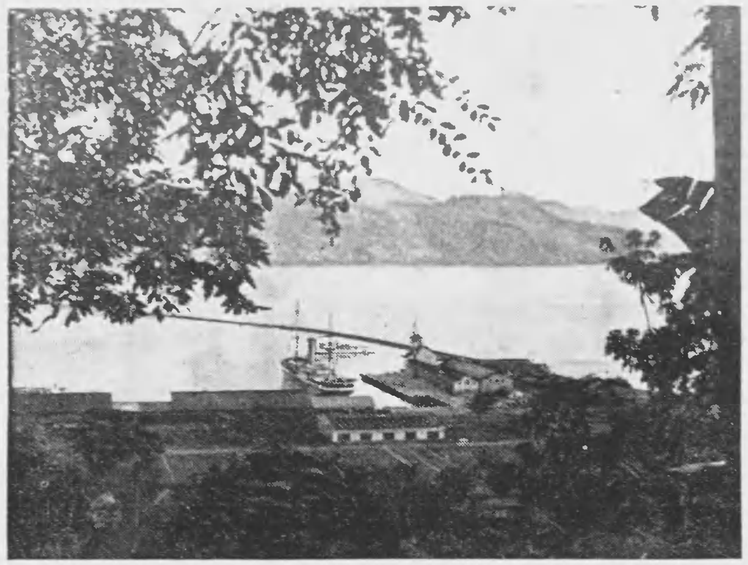


⇨メダン市の中心街、メダン郵便局前通り



⇦スマトラ東海岸のトムブシ河口に堆積された濃れゴムの山

⇦スマトラの資源パレンバン地方。南部スマトラの陸上交通の中樞をなす鉄道



⇦パダン市のエンマーハーフェン港は同島唯一の石炭積出港で名高い

油田がその産出量において最大のものであつて、蘭印が占める世界石油産額の二・八パーセントの六十七パーセントの産額を有してゐること。このスマトラ油田も南部、中部、北部の三油田に分れ、南部油田はパレンバン、中部油田はチャンビー州、北部油田はアチエー州を中心としてゐる。なんといつてもパレンバンは東亞最大の米英石油供給源といはれるだけあつてスマトラ石油の六十パーセント三百十二万トンの産出量がある。なほこの他スマトラの島内到る所に油田があるが、オランダ政府は各國が競つた開發權の獲得運動を封じて自國の利益獨占をはかつてきた。現在この島の開發權はオランダ、イギリス系資本會社と蘭印政府系及び米國系會社の三つに限られてゐて、産油の七十パーセントはオランダ、イギリス系の會社で占め、殘りは米國系會社で占めてゐる

スマトラにおける農業は非常に有望であるが、他の蘭印諸島に較べて農園の規模の大きいことに特徴がある。この農業は東海岸のメダン、西海岸のパダン及び南部のパレンバンを中心地として行はれ、産物は石油、煙草、ゴム、茶、油椰子、コーヒー等である

わが蘭印制壓によつてアメリカが第一に悲鳴をあげるであらうことはゴム資源を南方から輸入できなくなつたことである。このゴムの栽培こそ本島の主要産業で、石油の産出とともに世界的に名聲が高い。ゴムの産額は蘭印總産額三十万トンの約四十五パーセントを占め、いまや英領マレーを凌がん勢ひであつて、各國の投資によるゴム栽培は盛んであるが、邦人のゴム栽培に從事するものもかなり多い。中でもボルネオゴム園、スマトラゴム拓殖、南洋ゴム園等の諸會社は大いに活躍してゐた

またゴムや煙草の栽培に次いで油椰子の栽培が相當に有望視されてゐる。油椰子の油は人造バターの製造原料として適當なものであり、油脂としての獨特な地位を持つてゐる。ゴム栽培と同樣にこの方面にも邦人の活躍が目立つてゐる

なほこのほかに鑛産物として錫、石炭、ボーキサイト等の重要産物もある

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

マレー南下記
火箭の如く
マレー軍報道班員 里村欣三（手記）　栗原信（繪）

ムアール殲滅戦

一月十一日以來、自轉車編成でタプロウドを進發した○○追撃隊は、一日平均約百キロの進撃速度で、リンキル、サラ、ヤパン、シリアル、アロルガラ、ジャシン、タンガク等の西海岸都市を席捲して、マチイの陣地に據る強力な敵約六百と遭遇したのが一月十五日の眞晝間であつた。マチイ　ムアールは、○○部隊が攻撃しつゝあるマレー中央部のゲマスの陣地と繋がる強固な敵の抵抗線である。敵の主力はゲマスにあり、マチイ　ムアールの線には最優秀の機械化装備を誇る約三千の兵力を配備してゐたのだ。○○追撃隊の先鋒山本隊がマチイの敵と正面からぶつかり、これを一揉みに突破して一擧にムアール河畔へ進出したのが、十五日の日没時であつた

ムアール河は幅約三百メートル、河畔にはニッパ椰子が欝蒼と繁茂したジャングルの濕地帯である。晴濁たる水流には鰐が浮かび、密林から聞える怪鳥の聲がやかましい。月のない眞暗闇である

河畔の濕地帯まで進出した○○追撃隊は、無念にもこゝで進路を阻まれたが、部隊長は附近の部落を捜索して三艘のカヌーを徴發せしめた。八人乘りのカヌーである。このたつた三艘のカヌーによる部隊全員の渡河が完了したのは、十六日の正午近くであつた

敵はこの渡河地點を狙つて、終夜砲彈を浴びせかけ、敵機は不氣味なプロペラの唸りを立てて急降下爆撃を演じた。植村通譯の談話によれば、部隊の渡河地點は、敵砲火の集中を浴びて、終夜眞晝のやうに明るかつたといふ。もつてこの砲撃と爆撃の物凄さが想像されるであらう。渡河を完了した山本部隊、大柿部隊は、一擧にムアールに約二千の敵を包圍し、十六日の日没時に到るまで激戦を繰り返して、徹底的な殲滅戦を演じたのである。この戦闘で山崎少尉は兵十二名を指揮して、海岸傳ひにムアールを奇襲して、肉彈戦によつてムアールを占領したことは特筆すべき殊勲であらう。この勇敢無比な山崎少尉は、次ぎのバクリの激戦に、華々しく敵中に斬り込んで名誉の戦死をとげられたのである

バクリの丘に死闘

ムアールの敵を完全に殲滅した○○追撃隊は、直ちに攻撃前進を開始し、バクリの七つの丘に據る敵二千の攻撃にかゝつた。○○部隊の先遣隊伊藤部隊が、バクリの敵と遭遇したのは十八日の拂曉であつた。砲撃と敵砲艦による集中砲火を浴びつゝムアール河口を渡河した五反田戦車隊は、バクリの敵に對して側面攻撃の位置をとつて前進する。この日○○追撃隊は、山本部隊に險岨な難路を迂回させてヨンペンからの敵の有力な増援部隊を遮斷せしむべくペンドロック峠の敵を奇襲させ、十九日これを占領し、十八日夜には大柿部隊が敵陣地の後方を迂回して、敵の退路遮斷に成功してゐたのである。バクリの總攻撃は、先づ十九日午前十時戦車隊によつて火蓋が切られたのである。勇猛五反田大尉は、○臺の戦車を指揮して、驀地に敵陣地へ突入して行く。七つの丘の第一陣地は見事に突破したが、ゆるやかな斜を乘り越えて第二陣突破とみる瞬間、百雷一時に落つるが如き砲撃と爆煙――

この砲撃と爆煙が約二十分間にして、突然、死の沈黙に歸つてしまつたのだ。敵陣地は不氣味に靜まり返り、木の葉を揺がす微風もない。その無氣味な靜寂の天地を、白銀色の太陽が焙りつけてゐるだけだ。この時の光景を○○部隊長は、かう語つてゐる

『無念にも戦車隊は全滅したのだ。あの二十分間にわたる猛烈な砲撃が鳴りやんだ瞬間に、俺は戦車隊の壮烈な最後を直感した。地軸も砕けよとばかりに撃つて撃つて撃ち捲くつてゐた敵砲火が、突然に沈黙したのだ。その長い長い不気味な沈黙を破つて聞えるのは、椰子と檳榔樹の葉陰から聞える蝉の聲だけだつた……』

第一回の戦車攻撃が頓挫したとみるや、後續の戦車○臺が五反田大尉の報復を決意して第二陣へ躍進したが、これも猛烈な砲火を浴びて一臺は擱坐し、殘る○臺は敵彈を受けてエンジンに故障を起して後退を餘儀なくされ、この陣地で都合○臺の戦車を喪つてしまつたのだ

敵は強豪を誇る濠洲第五師、第五旅である。野砲、迫撃砲に配するに二千の濠洲兵と、戦車、装甲車二十臺以上をもつて友軍を迎へ撃つのだ。正面の敵と取つ組んだ伊藤部隊も苦戦である。後方遮斷の大柿部隊を、この方面にわが主力ありと誤認した敵は、全力を擧げて反撃を繰り返すこと七回。前後を包圍された敵は、死物狂ひとなつて抵抗するのだ。流石に濠洲兵である。突撃、また突撃をもつて突つ込むわが軍の正面に自動小銃を小脇に抱えて立ちはだかり、日本兵の銃劍で突き伏せられるまで、亂射をつゞける勇敢な濠洲兵があつたといふ。正面陣地は伊藤部隊、野砲隊、戦車隊の緊密なる協同攻撃にさらされ、退路は大柿部隊によつて遮斷されて、こゝに全く逃げるに術なき袋の鼠と化した敵は退路を求めて、あらゆる火器と戦車を動員して、遮二無二、大柿部隊の正面へ突つかゝつて來るのだ。大柿部隊は道路側面の濕地とジャングル地帯へ潜伏してゐるのだが、朝の九時から夜の九時頃まで、ひつきりなしに反撃してくる敵を支へて苦戦の限りをつくしたのだ。退路を遮斷された主力を脱出せしめるために、敵砲は大柿部隊の頭上へひつきりなしに榴彈の雨を降らせ、砲門は大地が木ッ葉微塵に吹つ飛ぶ物凄さで、巨彈を浴びせるのだ。その砲彈と爆撃のために、夜のジャングル内も、眞晝のやうに明るかつたといふ



突如聞える君が代吹奏

この激戦中に、つひに大柿正一部隊長は、砲彈を眞向に受けて壮烈極まる戦死を遂げ、部隊の指揮は、瀬尾中尉が執るに至つたのである。部隊長の壮烈極まる戦死の光景を目のあたりに直視した部下は、つひに砲彈と爆撃に默してゐられなくなつた。噴火さながらに砲彈が炸裂するジャングル内で、この時突如嚠喨たる君が代の吹奏が聞え出したのである。いはずと知れる大柿部隊が戦闘を飾る決死の突撃である。喇叭手の君が代の吹奏と、天皇陛下萬歳の絶唱！

陰惨きはまるジャングルの闇を劈いて、前後左右、滅茶苦茶に火焔を放つて炸裂する砲彈と爆彈。密林の梢すれ／＼に、おそひかゝる敵機！　木の幹、倒れた巨木の蔭、泥沼の中から躍り出して、まつしぐらに敵陣へ突込む兵隊。その正面で火を吐く敵自動小銃――陛下萬歳を叫んでバタ／＼と將棋倒しに仆れて行く兵隊。戦友の死屍を踏み越えて、眞一文字に突撃を繰り返すこと七回。正面からは戦車、野砲の路上射撃に援護されて壮烈極まりなき攻撃を加へる伊藤部隊――この前後からの猛攻に道路上の一點へ壓縮された敵軍。爆破される戦車、焔をあげて燃え落ちる裝甲車とトラック。必中の命中彈を浴びて、吹つ飛ぶ砲車。右往左往に逃げ惑ひ、あるひは斬られ、あるひは銃劍の餌食となり、機銃の掃射を受けて薙ぎ倒される無數の濠洲兵――

二千の濠洲兵と、數百のトラックと二十數臺の装甲車と戦車は、こゝに完膚なきまでに撃ち倒され、六百以上の遺棄死體と三百に餘る捕虜を殘して、完全に殲滅され終つたのである。この完全殲滅の鐵槌をのがれて、僅かにオートバイ一臺と六名の濠洲兵がシンガポールの方向へ逃れ去つたのみだつた

急追ハリットスロンへ

バクリの殲滅戦が完了するのと殆んど時間を同じくして、山本部隊はペンドロック峠に二十門の砲を有する二千の敵を奇襲して、峠の鞍部を占領確保してゐた。そして正面ヨンペンからの敵増援軍の攻撃を跳ね返し、後方側面の敵の逆襲、夜襲を反撃しつゝ三日間、ペンドロック峠を死守してゐたのだ。この三日間に亘つてヨンペン方面から増援される敵の大部隊を遮斷してゐる間に、ハリットスロンの大殲滅戦が準備されてゐたのだ。即ち二十日には總攻撃の準備がなり、正面ゴム林の兩側を兒島部隊が攻撃前進し、戦車と野砲が道路上を一列に前進しつゝ道路上、左右の陣地を交互に砲撃したのだ。この時○○部隊の吉田部隊が、敵の背後を遮斷してゐて、ちやうどバクリの場合と同じ形で、敵兵力一千が完全に包圍され、二十日、二十一日、二十二日と連續砲撃を浴びて、完全に殲滅されてしまつた。敵の退路を遮斷した吉田部隊が、追ふてハリットスロン後方の太鼓橋を占領し、橋上に重機を据ゑて、雪崩の如く後方へ逃亡する濠洲兵を撃ちまくり、一兵をもあまさず殲滅したのだ。パリットスロンの道路上には、粉碎され、炎上した敵戦車、野砲、迫撃砲、重機、輕機、對戦車砲、自動砲、小銃、彈藥、トラック、裝甲車の堆高い山である。こゝでもまた敵は、旅團長以下の遺棄死體五百と捕虜百三十を殘して綺麗さつぱりと殲滅されたのだ。先のバクリでは敵旅團長が捕虜となり、後方へ護送されたさうであるが、取調べの將校に對して

『自分の勤務地は、クワラルンプールであつたが、妻と子供をその任地に殘したまゝ部下を率ゐて、この戦闘に參加したのであるが、聞けばクワラルンプールは、疾つくに日本軍に占領されたさうだが、妻と子供二人の行方が未だに判らない、一體どうなつたのであらうか？』と憮然として語つたといふ。彼等もまた戦争の犠牲を強要して、敗戦に追はれ、妻子を顧みる暇もなかつたのであらう

バトパハ攻略

これより早く一月十六日バトパハの河口へ敵前上陸した○○部隊岡部隊は、バトパハの南方約八キロの地點において敵の包圍を受けつゝ十日間を頑張りぬいて敵を牽制し、○○部隊主力のバトパハ攻略を容易ならしめた功績もまた、特筆すべきであらう。即ち二十日から二十四日までヨンペンの増援軍をペンドロック峠において牽制してゐた山本部隊は、その任務を解かれるや破竹の勢で鰐の泳ぐ濁流を渡渉して一路ヨンペン―バトパハ街まで南下してバトパハの側背に迫り、大柿部隊と頭角を揃へたのが二十五日であつた。バトパハの正面は○○追撃隊がひた押しに攻撃を加へつゝ、渡河點を確保した。敵の砲艦が現はれて、○○本隊の渡河點を覘ひ猛烈な砲撃を加へたのは、この時である。マラッカ海峡は、すでにわが海軍の制壓下にあつたが、この近海は遠淺のため、潜水艦の攻撃の自由を缺いたことは、殘念であつた。砲艦は

南方部隊 陣中新聞

マレーやフィリピンの前線では報道班の手でこれがあの硝煙の間からと吃驚する程立派な陣中新聞が發行されてゐて、戦況や、内地の主要な記事をはじめ、現地将兵が硝煙弾雨の間にものした貴重な感想詩歌、故國からの郷土便りや、笑話等から報道班撮影の戦果寫眞まで掲げられてゐて現地部隊将兵の間に非常な人氣を博してゐます。皇軍の奮闘の陰には、このやうな文化的な苦心も拂はれてゐるのです。最近到着したもののうちから、将兵諸氏の作品の一部をこゝに集録しました。現地に活躍される将兵諸氏の勞苦を偲ぶことにいたしませう。こゝにはフィリピン方面で發行されてゐる陣中新聞『南十字星』及びマレー方面軍報道班の作つてゐる『建設戦』といふ陣中新聞から抄録しました

"速かに業を勵め"
―軍司令官告示を發す―

比島人中にはまだ何ものかに怖れをなして山間僻所から歸來せざる者、或ひは復職をなさざる者あり我が軍司令官は二十日附再び「比島人諸君に告ぐ」の告示を發し、各人が速かに戦前の職場につき業に勵んで比島人の比島建設に邁進すべきことを強調した。告示次の如し

比島人諸君ニ告グ

比律賓人ノ新比律賓建設ハ大業ナリ、之ガ爲比律賓人諸君ハ官公吏タルト一般民トヲ問ハズ、各々戦前ノ職場ニ就キ、其ノ業ニ勵ムヲ以テ第一歩トス日本軍ハ比律賓諸君ノ業務遂行ヲ援助スルニ吝カナラズ、米人ノ宣傳セル如キ不徳義ノ軍隊ニアラズ意ヲ安ンジテ速カニ家ニ歸レ、ソシテ其ノ職場ニ於ケル任務ヲ遂行スベシ

大日本軍司令官

比島戦記

彼我の距離 五〇メートル

〔バタアン戦線にて伊藤宣傳班員發〕戦車部隊の一線陣地に來てケチ臭い竹小屋の下で休憩してゐる時だ。三人の兵隊がすぐ近くに來て晝食をとりはじめた。きいてみると〇〇部隊の勇士だつた。患者護送で山を降り〇〇に患者をあづけて再び山にかへつて行くところだつた。山と云ふのはナチブ山の密林で、こゝは敵が難攻不落を誇る堅固な陣地が三線にも四線にもしかれてゐるのである。もう敵も味方もわからない様な亂戦です、と兵隊は言ふ。一歩踏み込んだらもうほんたうに西も東もわからぬジャングル地帯で、敵の巧妙な測定下に友軍はガムシャラに突撃をしてゐる。或る時など敵は土民軍を木に縛りつけて射撃させ静かになつたので友軍が突撃すると敵は或る木の上から又は側面から一齊射撃を行ふのである。敵の彈丸は十發位並んで地を這ふやうにしてやつてくる、昨日は自分の前においてゐた彈藥箱を五六發ぶちぬいて彈藥箱は破裂した。五十米先には中折帽で爆藥をうちたふ比島兵がゐる。兵隊は戦況をこのやうに語つて、我々が分け與へた貝を押しいたゞくやうにしてうけとり、いろいろ有難う御座いましたと禮を述べて出發した。戦車陣地の前は敵の飛行場になつてゐる。兵隊三人はナチブ山をめざして何處にゐるかわからない中隊をさがして默々と去つて行く。その一人の指さす方には煙が上つてゐる。あすこあたりだらうと戦友に言つてゐるのであらう。私はこの兵隊の悠々たる姿に涙ぐみたいやうな感動を覺えた



戦線カメラ　工兵隊勇士のセガマ架橋作業

陣中文藝

マレー進撃
月原橙一郎

銃口は常に南に向けた
マレイを北から南へ一千百粁―
進撃又進撃
灼けつく車輪、沸騰する冷却水
敵、敵國が
搾取の上に築いた道路
彼らの豪侈なるドライヴウェイ
今、それが敗退への長距路となり
皮肉にもわれに快足の軌道を與へ
南へ々々加速度の追撃
コゴ椰子の水にわづかに喉を潤ほし
ゴム林の蔭に小休止の息を入れて
敵は進撃路に二萬の降兵を置き去りにした
無數の糧食を、戦車を、野砲を遺棄した
敵は闇に光る螢さへ夜襲の眼と怯へた
一人の喊聲にさへ千人が腰を抜かした
敵の牙城、東洋侵略の據點星港
獅子の島の名を負ふシンガプラ
明日は早や
マレイ五百萬
アジア十億民衆の歡呼を呼びて
燦然と日章旗が上るのだ
崩壊する英國を弔ふ鐘が
地球の隅々まで響きわたるのだ
見よ、銃剣と白帆はマラッカ海峡に[illegible]
わが正義と光榮とは太平洋の潮風に乗つて來る
あゝ進撃一千百粁
今夜も南十字星の指す彼方へ
新時代建設のヘッドライトは驀る驀る

（「建設戦」より　筆者は[illegible]、軍の一員としてマレー戦線にあり）

陸軍准尉　斉掛　保

砲彈の砕す雲の下暑し
雲の峯砲聲に踊るゝ如くなり

戦陣

共に手を取り歩けば肩に
胸に花散るよい處
希望の朝に夜が明ける

南海の夜明
報道班　向井潤吉

一
船は征く征く　南は招く
地図に浮んだ夢の島
緑と紅の大アーチ
くゞれば金の肌が待つ

二
空は晴れたよエメラルド
意氣で溶かすも男伊達
力一杯心から
叫ぶ彼方に誰が待つ

三
昨日臺灣　今日フィリピン

へいたいさん
マニラ日本人小學校二年生　仁井本　誠

ぼくは日本のへいたいさんを、まだみたことがありませんでした。もうマニラもせんりやうになつてたくさんのへいたいさんがこられました。そしてぼくたちははじめて日本のへいたいさんを見ました。ぼくたちは日の丸のはたをふつてばんざいをさけびました。ぼくたちは、へいたいさんが大すきです。このごろはまい日まい日どこへいつてもへいたいさんをみられるのでうれしくてたまりません。へいたいさん、まい日たゝかつてくださつてありがたう。ぼくたちはまい日ちかくのへいたいさんのところへあそびにいつてゐます。そしておはなしをしたりしやしんをうつしてもらつたりしてゐます。へいたいさんはぼくたちを大へんかはいがつて下さいます。ぼくは大すきなへいたいさんがいつまでもマニラにをられればいゝとおもひます

三月の常会

一 戦勝感謝に郵便貯金

國民が待ちに待つたシンガポールも遂に陥落しました。この喜びを感謝にかへ、お互ひの生活をぐつと引き緊めて今一段と貯蓄報國に邁進しようではありませんか。いふまでもなく貯蓄は大東亞戦争完遂の原動力です。そこで今回の戦勝を機として全國的に戦勝感謝郵便貯金實践運動を展開することになりました。ことにこの運動では戦時貯蓄に最も相應しい『定額貯金』と『積立貯金』を一戸必ず一口は預入することを主眼としてゐるのですから、それこそ何をおいてもこの貯金に加入し、御奉公の誠を捧げようではありませんか。なほ、この運動中に預入れられた定額貯金の證書や積立貯金の通帳には『感謝貯蓄』のスタンプを捺して貯金者の感激を永く記念することになつてをります

二 堆肥生産倍加運動

戦時食糧の確保、特に農作物の増産は絶對に必要ですが、このために缺くことのできない肥料類は相當窮屈になつてゐます。この對策としては堆廏肥、緑肥、厨芥、木灰等の自給肥料による他にないので、目下全國各市町村で『木灰供出強化運動』を展開中ですが、今度農林省では全國農會を中心に『堆肥生産倍加運動』を實施しこの目的達成に拍車をかけ、自給肥料の大増産を期することになりました。こゝで一つ大いに馬力をかけ國民各自でこの問題解決に一層の努力をいたしませう

三 蓖麻の栽培献納

蓖麻は航空機用潤滑油の原料として重要な國防資源ですが、今度空閑地を利用して蓖麻を栽培しその收穫した種子を軍に献納して軍用航空機用潤滑油を確保しようとする『蓖麻栽培献納運動』を全國的に展開することになりました。その方法は、種子は大政翼賛會から各府縣支部、市町村支部を通じ部落會、町内會、隣組を經て各栽培者に配付し、學校、會社、工場等の團體には市町村支部から配布されます。收穫種子は在郷軍人分會が中心となつて集荷されます。栽培の方法については帝國農會關係諸團體で指導することになつてゐます。ふるつてこの運動に參加しようではありませんか

四 翼賛選擧の徹底

四月三十日には衆議院議員選擧が行はれることになつてをりますが、この際大東亞戦争完遂を目標とする翼賛選擧を徹底させることになりました。國民の政治力を集約した清新強力な翼賛議會の確立を期して、將來の情勢を一掃して公正、明朗な翼賛選擧を實現することを申合せ且つ實行しませう

夜に入ると、華僑が放火する火災を目標にして、假借なき砲彈を撃ち込んで來た。パトパハ占領後、砲撃目標に點火放火して歩いたこの憎むべき華僑七名は捕縛されてゐる。この英軍千二百名は、側背を山本、大柿兩部隊に遮斷され正面を〇〇本隊に猛攻されて、脆くも二十六日には完全に占領されてしまつたのだ

センガラン戦闘

バトパハの占領と同時に、大柿部隊は吉田部隊の後尾を追及して、一路センガランの陣地をめざして突進、この以前に、敵中十日間を頑張りつゞけてバトパハの敵軍を牽制してゐた岡部隊は、やつと吉田部隊と連絡がつき、海岸路を突破して二十五日センガランの飛行場を占領したのである。敵中で十日間頑張りつゞけた岡部隊は、飛行機から投下される僅かな食糧で飢を凌ぎ、ほとんど飲まず食はずで苦戦をつゞけて來たのだ。この飛行場を占領した時、狼狽した敵は地雷埋設地圖を忘れて逃げ去つたので、地雷の採掘が極めて容易であつたといふ、滑稽な話もあつた。センガランの後方の退路を遮斷したのは、〇〇部隊。正面と海岸寄りの側面から猛攻を加へたのが、吉田、岡兩部隊。それが二十六日――。その同じ日に、道なきジャングル地帯を迂回して、〇〇追撃隊の山本、兒島兩部隊が敵後方を遮斷し、〇〇部隊の主力は、側面を衝いて敵を包圍してゐた。一部の兵力が決死敵陣を突破して、センガラン、レンギット間の道路を障害物で閉鎖する戦術に出てゐる。即ちセンガラン、レンギットの敵は完全に兩斷されて、センガランは〇〇追撃隊の包圍に陷り、レンギットでは〇〇追撃隊の完全包圍下に包まれてしまつたのである。センガラン、レギットの敵は、パリットスロン同様、戦車、野砲、歩兵の協同作戦によつて、路上砲撃を受け、道路上約千メートルの間に壓縮されて散々な猛砲火を浴びて壊滅してゐる

部隊本部襲はる

しかしながら、前後を包圍されての死物狂ひの抵抗とはいへ、敵濠洲兵もさる者で、レンギットの包圍殲滅戦では、敵の戦車と装甲車約十臺が、死物狂ひの狂亂を演じて〇〇部隊本部を襲撃し來たつた。本部の位置には〇〇護衛〇隊と、若干の通信兵が殘つてゐただけである。そこへ火牛の如き兇暴さで敵戦車と装甲車約十臺が、重機と戦車砲を火の如く猛射しつゝ夜襲を企て、〇〇部隊長と植村通譯は、コンクリートの水槽を遮蔽物にして伏せてゐたが、雨霰と飛ぶ彈丸で部隊長の足元に轉がつてゐた皿がピーンと砕け飛ぶ、通譯の日本刀の鞘を銃彈が貫通する、『もう、これが最後だと思つた。頭を一寸と上げられないほど、彈丸が亂れ飛ぶんだからねえ！』と、戦闘の直後、植村通譯は語つてゐた

だが、この亂戦の眞只中で、〇〇班長佐野曹長が手榴彈を振りかざして壕から飛び出し、目の前へ肉薄してくる戦車をめがけて投擲する。パッと火を吐いて擱坐する戦車、つゞいて飛びかゝつてくる輕装甲車を覘つて、またもや部下の手榴彈を取り『こいつ奴！』とばかりに投げつける。覘ひたがはず即座に擱坐して火を吐く輕装甲車。あわてゝ逃げ出す敵兵に追ひ縋つて、振りかざす日本刀の手練！『この時ぐらゐ、胸の中のシコリが一ペンにケシ飛ぶやうな痛快さを味はつたことがない。危機一髪の場合に、戦車の面前へ立ちはだかつて行つて手榴彈を投げつける勇猛さ、この日本軍人のこの捨身の戦法が、常に百戦百勝の結果を生んでゐるんだ。結局、最後の土壇場には、日本人の捨身の魂が物を言ふんだ。矢張りこの戦闘であの亂戦中、〇〇護衛〇隊が、いつでも〇〇が〇〇できる用意をして、微動もせず銃劍の穂先を並べて、落着き拂つて〇〇と部隊長を護衛してゐた光景には、感動した。わが部隊本部を突破せんとして突破できずに迂回して外れたこの敵戦車と装甲車は、山本、兒島兩部隊の重機によつて、ことごとく擱坐させられ、焼き拂はれてしまつた

私たちは激戦の翌日、センガラン、レンギットの戦跡を見たが、數百名に餘る敵の遺棄死體及び野砲、戦車、トラック、速射砲の殘骸の山と、死臭紛々たる戦場一面に散亂する軍衣、毛布、食糧、防毒面、雑嚢、水筒、罐詰……。センガラン、レンギットの包圍鐵環をくゞつて、極く少數の兵力が民船に投じて海へ逃れ去つた以外は、ことごとくこゝで殲滅されたのである

大トカゲの餌食

マチイ以來の包圍殲滅戦約十日間のうちに、敵兵力の二個師が、こゝに完全に殲滅されたのだ。すでに〇〇部隊の一部と、〇〇部隊の一部は、シンガポールの陸の玄關ジョホールバールに突入してゐるが、センガラン、レンギット以來、二月一日までに敵影一つ見ない前線の情況である。海岸沿ひ道路上に遺棄された敵の死屍を、一間もある大トカゲが白晝頭をもたげて舐め貪つてゐる光景は、異様である。トラックや自轉車の音に驚いて、ニッパ椰子の木蔭へ逃げてゆく大トカゲの滑稽なあわてふためき方には、一抹のユーモアがある。空しき抗戦に身を滅したマレー英兵の死體は、大トカゲの餌食となつてゐるのだ

（スクダイにて二月一日記）

勝利の法律へ

（3）

戰時民事特別法

裁判沙汰は愚の骨頂 お互ひのため圓滿に

裁判はたとへば外科手術のやうなものであり、これに對して調停は保健衛生のやうなものであるといへませう。こんどの戰時民事特別法では戰時下に相應しくなるべくこの外科手術をさけて保健衛生に力を注ぐ建前から金錢債務の調停制度を擴範圍に擴張しました

私どもの間でよく起きる、貸した金を返せ、返せぬといふやうな爭ひは結局訴訟によつて解決するのが普通ですが、よく考へてみると訴訟をするには相當の時間と費用がおゝゐので、お互ひが意地付くになつたため數十圓の金額の訴訟に幾年もの月日と家産を傾ける費用をつかひ、しかも訴訟には勝つたが相手が無資力になつたため金は一文も取れなかつたといふやうな話もよくあることで全くつまらぬ話です。しかも世の中には返す意志は十分にありながらにつちもさつちも動きのとれない債務者が澤山にあることでせう。そこで金錢債務の調停制度はかうした誠實な債務者を保護すると同時に、その債權者をも保護することになるわけです。その證據には債權者からの調停申出も認められてをり、その結果圓滿に解決した例も數くありません



出る所へ出て見つとも長くない顏をさらけ合ふ人達

爭ひは信用を失ふもと 商人同志も話合ひて

もと〳〵商人といふものは信用を基礎にして取引を行つてゐる者でありますから、これが一たび相手方によつて裁判を起されると、世間一般の信用は先づ失はれるものと思はねばなりません。商事の調停には商事に通じた實際家も加はつてゐるし、また話合ひにより手輕に早くしかも秘密の裡に圓滿な解決を圖るものでありますから、商人にとつては大變に有利な制度であるといはなければなりません。しかも商人は打算的で商事上の爭ひに感情を混じへるようなことも割に少いので調停が成立する率も一般の金錢債務調停に比べて多くなければならないはずです

尺度て測れぬ事情もある、裁判官の力量て

今日ではたとへ裁判の結果、金を貸した事實が確定しても債權者が債務者から實力でそれを取り返すということは禁じられてをり、債權者はたゞ國家の權力によつてこれを取立てることができるに過ぎません。裁判所は債權者の申立によつて債務者のもつてゐる不動産を競賣にしたり、或ひは動産の差押へをしたりしてその賣得金を債權者に交付することになりますが、これらの強制執行はこれまで裁判官が法律できめられた數一



こんどの戰時民事特別法によれば、この商事一般の爭ひについて

ものごとは須らく調く おだやかに解決へ

的な尺度をもつてゐるために、いはゞ機械的な判斷を下してゐたものでした。しかしかうした戰時下では國民の生活もいよ〳〵複雜化してきますので一律に法の尺度で測るといふことは困難です。こんどの戰時民事特別法ではこの點を改め、債務者の事情に應じ、場所に應じ、時の應じ、その債務者の事情に應じ、場所に應じ、時の應じ、その債務者の事情も考へた上、債權者にとつてさほど不利を與へないことが認められれば、その執行を延ばしたり、破産の宣告をも猶豫することができるやうにして、統制による轉業とか生業等のためいきなり借金の返濟ができない者に積極的な援助を與へることになりました

貴重な時間と、費すさい、裁判手續に簡略に

訴訟に關係事件三年といふことがありますが、これは裁判が非常に回數を要することを豫想したもので、その手續の如きはしいことを意味してゐるものともみられません。こんどの戰時民事特別法ではこの點についても大いに考慮を拂ひ、裁判の際の證人呼出しの手續をも大變に略式にして、いかめしい呼出狀によつて呼出してゐたのを電話やハガキでもそれができるようにしたほか、重要な職場にある人に對しては裁判所に出頭する代りに書面を提出させてこれを證據として採り上げることにし、民事裁判の簡易化をはかつてゐます

大御稜威のもとに

シ港陷落の喜びに沸く帝都



シンガポール陷落の報に部にもまして胸躍らせたシンガポール方面からの引揚邦人馬來協會の人々は、まづ宮城二重橋前にぬかづき、大御稜威の有難さに感泣したのであつた



この輝かしい戰果にこたへて國債を買ひませうと呼びかあかる帝都市中に移動郵便車が出動、第一回大東亞戰爭國債、特別戰時貯蓄債券及びシンガポール陷落記念郵便切手等の販賣に活躍した

三月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

一日▽滿洲國建國十周年記念日　郵便局で慶祝記念切手發賣開き開始
三日▽雛祭
六日▽地久節　皇后陛下には御三十九回目の御誕辰を迎へさせられる
八日▽大詔奉戴日
十日▽第三十七回陸軍記念日　▽動員貯蓄記念日　戰果にこたへて貯蓄につとめませう
二十一日▽春季皇靈祭
二十七日▽九年前帝國　國際聯盟を脫退　▽二十八日にかけ全國から選ばれた約四千六百の遺兒靖國神社に參拜
三十日▽中華民國國民政府成立して二年

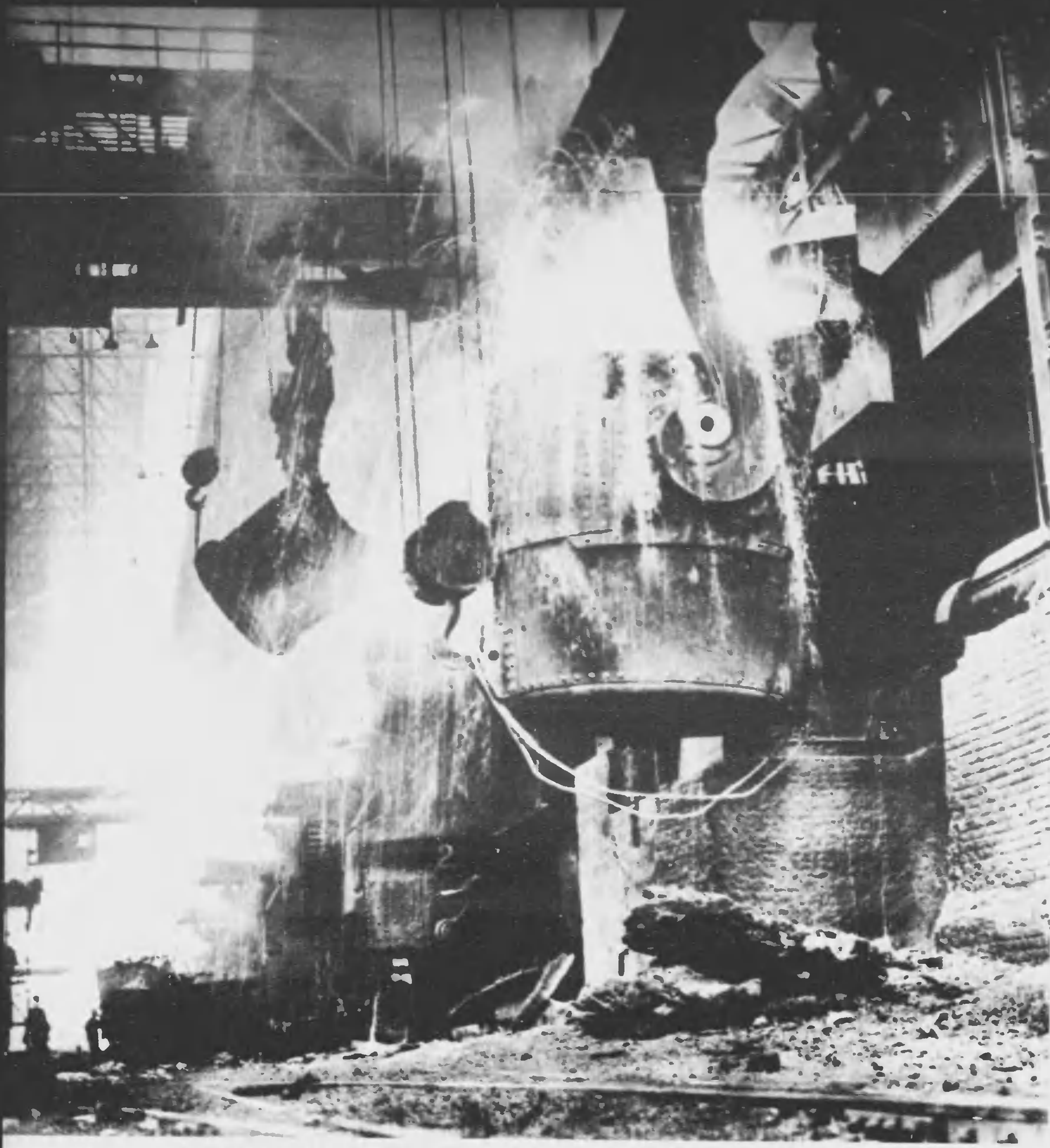
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

時も時共榮圏内に

滿洲國は十歳の誕生日



⇨石炭開發は鐵、農業と共に第二期産業開發五ヶ年計畫においても最重要部門とされた。これは孫家灣（錦州省）における採炭爆發

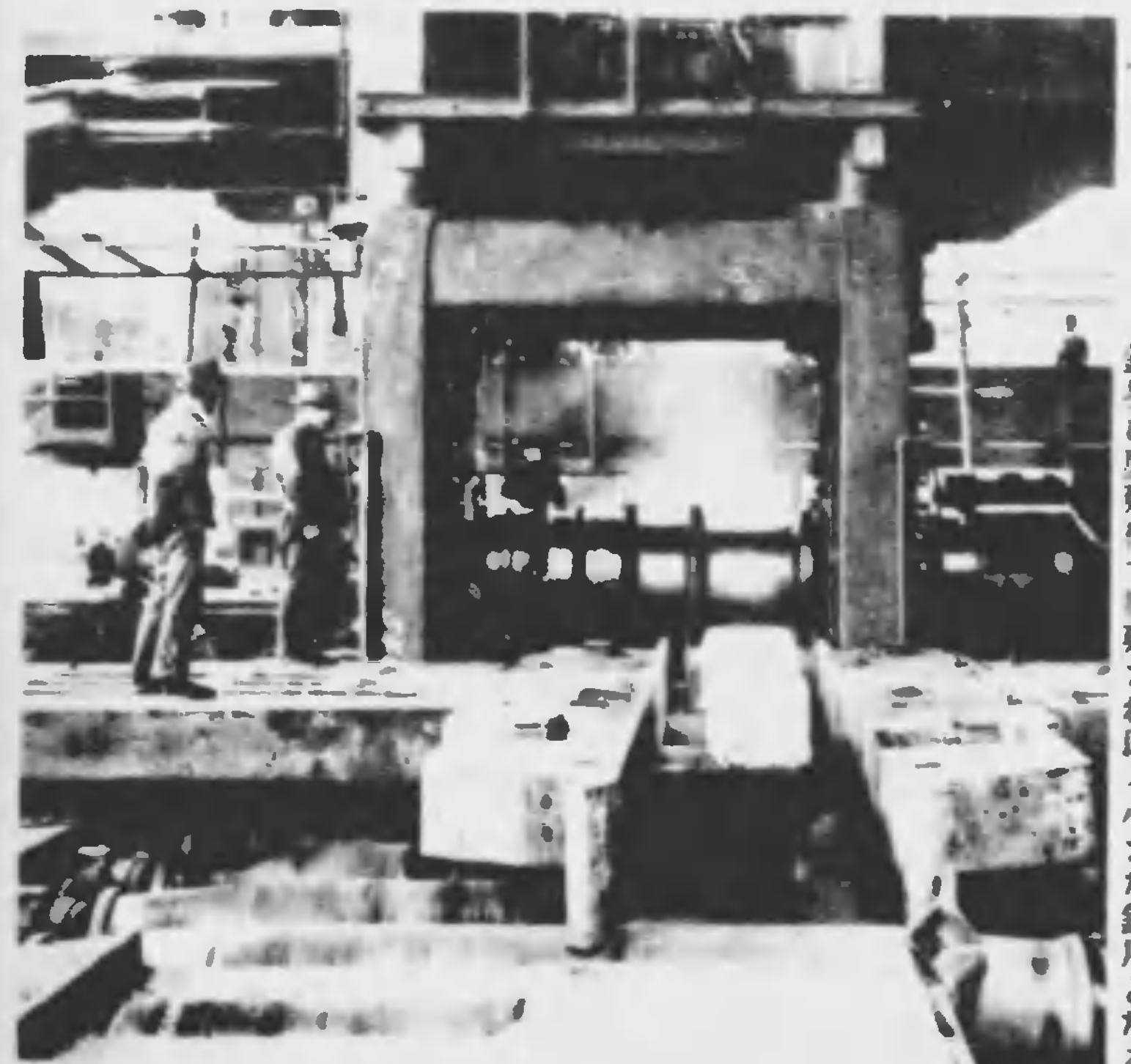


⇦滿洲重工業界の花形、昭和製鋼所。灼熱の熔鐵は平爐で處理され、火花を散らして鍋に流れこむ

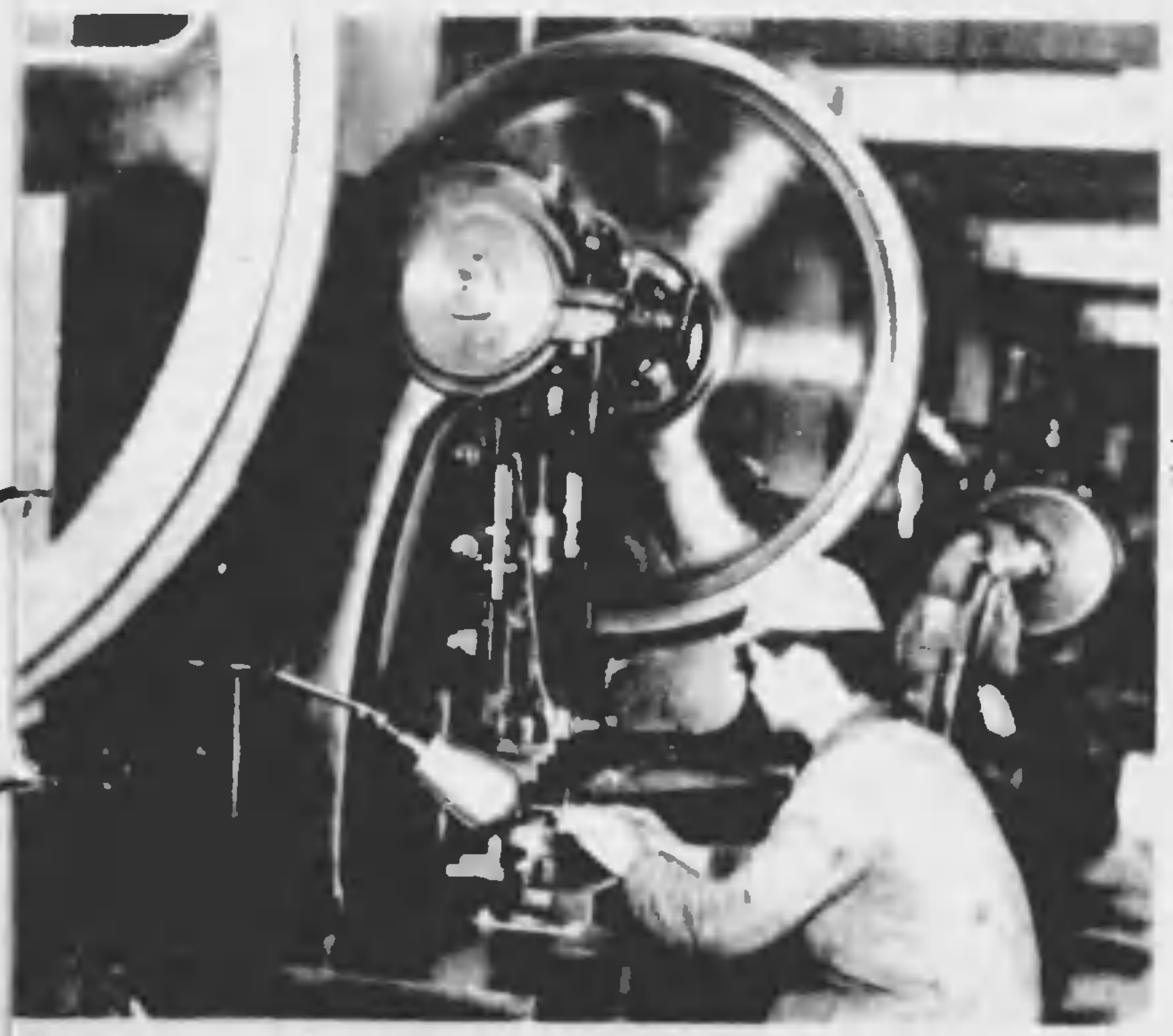
撮影　南滿洲鐵道株式會社及滿洲重工業開發株式會社

三月一日、友邦滿洲國は大東亞諸民族の羨望のうちに輝かしい建國十周年を迎へる。回鑾訓民詔書の中に、日滿兩國の關係について『友邦と一德一心』といふ御言葉が示されてゐるが、この御言葉の通り過去十年、四國の情勢は色々と移り變つたが、日滿兩國民の情愛は年とともにこまやかさを加へるはかりであつた。かうして、滿洲國は誕生以來僅か十歳といふ弱齢にも似ず、今では世界に押しも押されぬ立派な國家として成長した。實際、政治、經濟、文化その他どの面を見ても、滿洲國の姿は、その傳統的王道精神の中にも、潑剌たる近代性をまん／＼とたゝへて間然する所がない。そして今あらゆる面で第一期の建國基礎工作時代を經て第二期の建設へとわきめもふらずに驀進し始めたのである

いふまでもなく、滿洲は日支と共に大東亞共榮圏の基軸となる國である。約四千三百萬人の滿洲國人はこのことを誇りとし、われ／＼と同じ氣持で、われ／＼の蔭になり日向になつて、或ひは北邊の固めに、或ひは物資の生産に、日夜分たず涙ぐましい努力を續けてゐる。建國十周年の意義深い今日、われ／＼は特にこのことを銘記し、心からこの國の人々の努力を讃へ、また感謝しよう。と同時に、われわれもまた絶えざる友情をこの國に示して、行末長き發展を祈らう



鋼塊は壓延機で壓延され段々小さな鋼片となる





通信機のすばらしい普及によつて悠々たる滿洲は日一日と迅速活潑な國と化しつゝある　（右）滿人工女の眞空管製作　（左）滿洲青年のパンチ作業

さあ次の時代も大丈夫

徳島縣富田國民學校兒童

撮影　吉田　孝

子供の顔は鏡のやうだ、といはれてゐます。一家の有樣を、暗ければ落り、明るければ笑をたゝへて、そのまゝにうつします。これを一國家に押し擴げてみても同じことがいへませう。少國民が明朗にすく〳〵と健康な成長を遂げてゐる國家は必ず國力の伸展にめざましいものがあります

大東亞戰爭で連戰連勝向ふところ敵のないわが國の少國民は、わが國が東亞十億民族の盟主となつて共榮圏を築かうといふ、國力の伸展を反映してすく〳〵と成長してゐます

こゝ南國、四國の春はもう深い、強い陽ざしを受けて德島縣富田國民學校の校庭では、體育校の名に相應しく子供たちはシャツ一枚、パンツ一枚で撥剌と戰勝の春を謳歌してゐます。戰爭は何時まで續くか、お父さんの代で終らなければ、わたしたちの築く健康な肉體にものいはせようと決意するもののやうに——



すらり二列に並んだ低鐵棒にオカッパ、ボウズ頭合せて百四十が、二本の腕に身體の全重量を支へピンとそる



全筋肉を緊張させる富田體操　全校生徒は校庭せましと亂舞する





鍛へた身體は姿勢が不健康にくづれない教場でも身體を起してと注意などしなくとも自ら直角に正しくなる



校庭ばかりでなく野外に出て自然に親しみながら體力を練らう。樹木を利用した懸垂に強い背力は鍛へられる

健康の基礎となるリズミカルな正常行進呼子一つを合圖に、花模樣を描き、いろいろな圖案を描く。樂しみのうちに身體の均整がとれてゆく

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



ルーポガンシ最後の日

復習帳

本號からあなたは何を學んだでせうか。

1 昭和十七年二月〇〇日午後〇〇時ボーレー軍總司令官〇〇〇〇中將はシンガポール戰線の第一線〇〇〇高地のフード台附近でわが最高指揮官と會見、無條件降伏を申し出たが、何年になるでせう。（9頁）

2 帝國が決然國際聯盟を脫退してから何年になるでせう。五年？　九年？　十三年？　二十年？（1頁）

3 スマトラ島の大さは（　）個鮮の半分位、（　）個鮮と全く同じ大さ。（10頁）

4 パレンバン、メナド地方の攻略にわが軍は開闢以來の作戰を用ひましたが。（3頁）

5 三月の當分で實行を申合せるべきことがら四つは。（11頁）

6 ビルマ方面の皇軍がサルウィン河を渡つて日章旗を打ち樹てたこの河の右は軍事關係は一マルタバン。タゴイ。ラングーン。シオ。（8頁）

7 わが手に落ちたパレンバンは印最大の油田地帶。米英に對するボーキサイト供給源。（10頁）

8 滿洲國が誕生して今年は滿何年になりますか。五年？　七年？　十年？　十三年？（13頁）

9 盛る人に五年も前に貸した金をまだ返してくれないのですが時節柄成るべく裁判沙汰にせず話合ひで濟まりをつけたいと思ひます。金を貸した方からも裁判所へ調停申出をすることができませうか。（16頁）

10 アンザックとは「フランス半島では大きな鰯をかう呼ぶ。イギリス東亞軍司令官の名。濠洲兵の通稱。（13頁）

一問十點としてあなたは何點でしたか。

寫眞週報（禁轉載）

★表紙

シンガポール遂に落つ。あゝこの感激、だが、その裡にも嚴然として襲ひ來るものは、コタバル上陸以來二ケ月有餘、酷暑、密林の地に皇軍苦闘したこの方面の陸軍最高指揮官山下奉文中將以下將兵に對する限りない感謝の念である。まこと、勇將の下に勇卒なし、將軍の大膽豪快にして細心緻密なる作戰下に渾然一體の苦勞を續けてきた勇士たちを思ふとき、わ〻はいたゞ「ありがたう」の一言あるのみやうに

昭和十七年二月廿五日印刷發行
編輯者　情報局
東京市麹町區九ノ内ノ一ノ二
印刷者　内閣印刷局
東京市麹町區霞ヶ關

一部　十錢

▲豫約配送御希望の方は部十錢（外國郵便に依る地域は十九錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい
▲特大號の場合は其の都度御掛込金より差額を申受けます

申込所
全國各地官報販賣所
書店・驛賣店
新聞販賣店
寫眞材料店

本誌を戰地におおりになる場合は發行は內地と同樣で封あるひは開封にして第三種と明記すれば、一部一錢二厘一錢五厘、三部一錢です

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

寫眞週報
昭和十七年二月十二日　第三種郵便物認可　昭和十七年二月廿五日發行　毎週一回木曜日發行　第二百卜號

戰果貯蓄



東海銀行
本店・名古屋

内閣印刷局印刷發行

（判篩報道）・A4篩規定圖はさき大の書本）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/